

木造住宅 低コスト耐震補強 のご案内

木造住宅の耐震化の工法は、従来から用いられている一般的な工法だけでなく、さまざまな新しい工法が増えています。

「低コスト耐震補強」を活用すると、既存の壁や床、天井などの解体部分を最小限にできることから、工事中の居住環境の改善や改修工事のコスト削減が可能となる場合があります。

低コスト耐震補強 とは？

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会が行う、木造住宅の耐震改修工事を普及させるための耐震改修技術の評価を受けた工法のことです。構造性能、コスト、施工性、居住性など、さまざまなメニューのなかから所有者のみなさんのご希望や、お住まいの実情に見合った工法を選択できます。

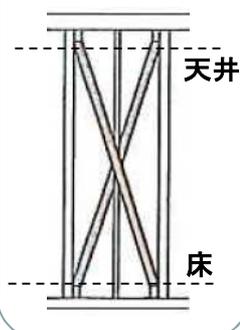


木造住宅 耐震改修工事の工法イメージ

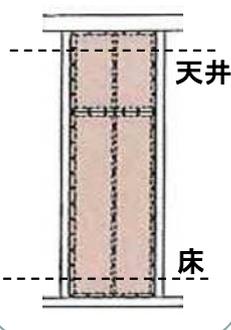
一般的な工法

既存の天井・床は一部壊して復旧

柱の間に筋かいを入れて補強



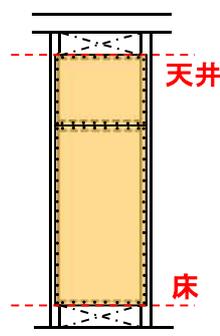
構造用合板で補強



低コスト耐震補強

①天井や床を壊さずに補強

床と天井の間を構造用合板で補強



②外から補強

外壁の上に金属の筋交いを入れて補強



「必要最小限の耐震改修工事だけ行いたい！」

「住みながら工事を行いたい！」

「短期間で工事を行いたい！」

そんなみなさまにおすすめです

注意

建物の仕様や条件、耐震改修工事以外のリフォーム工事の有無などによっては、低コスト耐震補強の工法が採用できなかったり、一般的な工法で行うほうが効率的な場合もあります。

今後、耐震設計を進めるときには、

「低コスト耐震補強」の採用についても担当の耐震診断士とご検討ください。